



子育てシェア利用時の事故発生時について



※重大事故等により支援者に賠償責任が発生する場合があります。

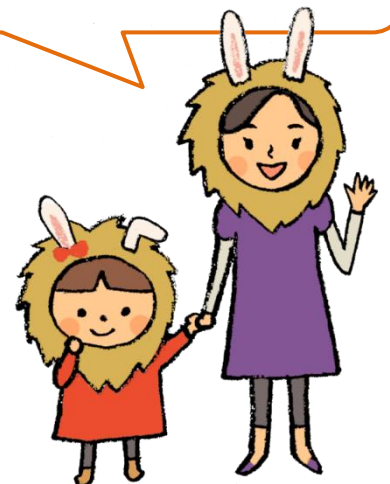
擦り傷、切り傷などの日常的に起こりうる軽傷や軽微な物損は補償対象外になる場合があります。



緊急連絡先のメモ

自宅	
住所	
電話番号	携帯電話
夜間・緊急時に行ける病院	
病院名	電話番号
受付時間	
かかりつけ病院	
病院名	電話番号
受付時間	
その他	
住所	
電話番号	携帯電話

まずは落ち着いて
深呼吸！





ケガ人の救護

- 注意**
- ケガ人に近寄る前に、周囲を見渡して安全であることを確認してください。
 - ケガ人が頭や首を強く打った可能性がある場合は、むやみに動かさないようにしてください。

ケガ人がいる場合は、周囲を見渡して安全であることを確認し、以下の手順に従って、救護してください。

① 反応

声をかける、肩をたたく等の刺激を与えて反応を確認する
(身体をゆすったり、動かしたりしない)。

あり

元気づけ、落ち着かせる。必要な応急手当を行う。

なし

助けを求める。119番通報、AED^(注)の手配を行う。

救急車は 119 番



② 呼吸

胸と腹部の動き(上下の動き)を見る。

あり

普段どおりの呼吸をしている場合は、気道確保を行い救急隊を待つ。
嘔吐や吐血などがみられる場合、**回復体位**にする。※3/4 ページ「気道確保」参照

なし

普段どおりの呼吸をしていない場合は直ちに心肺蘇生を行う。
胸骨圧迫 30 回+人工呼吸 2 回を繰り返す。
心肺蘇生は AED を装着するまで、専門家に引き継ぐまで、またはケガ人が動き始めるまで続ける。圧迫は強く(成人は少なくとも 5cm、小児は胸の厚さの約 1/3)・速く(少なくとも 100 回/分)・絶え間なく行う。
圧迫と圧迫の間は、胸が元の高さに戻るまで十分に圧迫を解除する。

AED^(注)が到着次第、心電図の解析を行い必要に応じて電気ショックを加える。
AED は電源を入れ、胸に電極パッドを貼りつけた後、音声メッセージに従って使用する。

AED 使用后、直ちに心肺蘇生(胸骨圧迫 30 回+人工呼吸 2 回)を再開し、2 分間続ける。以後、心配蘇生と AED の使用を繰り返す。

じどうたいがいしきじょさいどうき
注)AED(自動体外式除細動器)は、突然心停止状態に陥った場合に、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す、誰にでも簡単に取り扱える医療機器です。

③ 出血

外出血、特に大出血を認められた場合は、直ちに止血を行う。

あり

ガーゼや清潔なハンカチなどで出血部位を強く圧迫する。

なし

骨折、ねんざ、痛みなど、その他の異常がないか観察する。

※上記の救護方法は、「救急蘇生法の指針<2010>・市民用(監修:日本救急医療財団心肺蘇生法委員会)を参考に作成したものです。実際に救護を行う際は、ケガ人の状況により適切な処置を行ってください。



気道確保

気道とは、呼吸の際の空気の通り道で「気道確保」とは、この通り道を開通させることをいいます。

頭部後屈あご先拳上法

静かに額を押さえ、あご先を人差指と中指の2本の指でゆっくり持ち上げて、気道を確保する。



回復体位

あお向けにしたケガ人の横に座り、

- (1)ケガ人の手前側の腕を開く
- (2)反対側の肩と腰を持って、静かに引き起こし、体を横向きにする。
- (3)両ひじを曲げ、上になった手を顔の下に入れ、口元が床面に向くようにする。
- (4)姿勢を安定させるため、上になった足のひざを曲げ腹部に引き寄せる。以後、定期的に体の向きを変える。



幼児

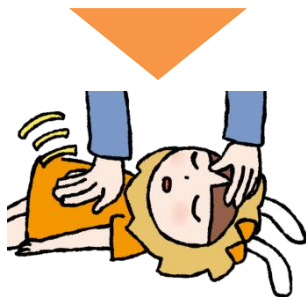


子どもの鼻をつまみ、口と口をつけて息をふきこむ。
(1分間に20回程度の速さで行う)

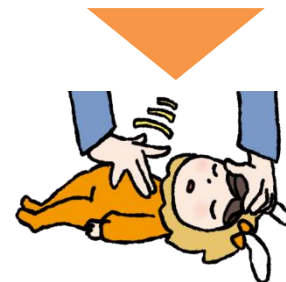
乳児



口と鼻を一緒におおい、強くなりすぎないように息をふきこむ。
(1分間に20回程度の速さで行う)



乳頭間の肋骨を片手で胸の厚さの1/3しずむ強さで押す。
(1分間に100回位の速さで)



左右の乳頭を結んだ線の中央すぐ下を、指2本で胸の厚さの1/3の深さまで押す。(1分間に少なくとも100回以上の速さで)



直接圧迫止血法(止血法の基本)



出血部位にガーゼや清潔なハンカチ等を当て、その上から手で強く圧迫する。圧迫は止血するまで続ける(圧迫の継続が必要)。



二次災害の防止

負傷者の救護中、ほかの子どもの安全は確保できていますか？

- 自分以外の大人の見守りが可能ですか？
- 事故発生現場に近づかないように対処できていますか？
- 事故発生のストレス症状への心のフォローができていますか？



重大事故の場合は、いち早く、自分以外の成人者の援助を求めましょう！



事故状況のメモ

事故状況メモ欄 出来る限りメモしておきましょう。

日時	_____	月	_____	日	_____
		時	_____	分頃	_____
場所	_____	市区町村	_____	丁目の	_____
				あたりで	
事故内容	_____				
ケガ人	_____	名	_____		
	病院名				
損壊物	_____				
対応した事	ケガ人の救護 _____				
	動かした物 _____				
届出警察	_____	警察署	_____		
			担当官 _____		

目撃者の確認

自分以外に、事故等を目撃した人が居た場合は、後日のために、連絡先等を確認してください

目撃者 1

- ・名前
- ・住所
- ・電話番号

目撃者 2

- ・名前
- ・住所
- ・電話番号

事故発生時の位置関係を書いてください

交通事故の場合は、警察に通報します。事故が発生した状況をなるべく詳細に記入してください。
自分と負傷者、その他の人の位置関係、家具等との位置関係など、事故発生時の状況がわかるように書いてください。